

すぎなみから歩き出す・交流自治体情報紙  
てくてく

# 交流自治体の「冬」特集

今年も寒い季節がやってきました。交流自治体に目を向けると、深々と雪が降り積もっていたり、この季節でしか味わえないご当地料理があったり、はたまた海開きをしたり……寒いけど元気なまちがそこにはあります。てくてく13号では交流自治体の「冬」を集めます。暖かいお家から、ちょっと足を延ばして交流自治体の冬を感じに行ってみませんか。



新潟県 小千谷市

## 『おぢや風船一揆』

真っ白な雪原にカラフルな熱気球がいくつも浮かぶ、冬の風物詩。その数なんと約40機。初日の夜に行われる、気球と約300発の花火の共演は見ごたえたっぷり!

地元の方によると、早めに来て熱気球の立ち上げの様子や、競技フライトのパイロットがターゲットを指してマーカーを投げる様子を見るのも面白かったりするそうです。会場では地元の美味しいものを集めたうまいもの広場やスノートレイン、スノーチューブなどの体験のほか、熱気球試乗体験(要申込)など色々なコンテンツが楽しめます。

※イベント内容は予定となります。詳細は小千谷市HPでご確認ください。

📍 小千谷市観光交流課  
電話番号 0258-83-3512  
開庁時間 平日8:30~17:15



スノートレイン



スノーチューブ



## 『小千谷縮の雪ざらし』

ユネスコ無形文化遺産に登録されている「小千谷縮」。生地を雪上に敷いて日光にさらすことで、色をより鮮やかにする昔ながらの作業工程です。これも会場で見てください。